



糖尿病看護認定看護師

糖尿病は現在、5人に1人といわれる国民病になっています。糖尿病は一度発症すると、長期にわたって自己管理をして、血糖を良好に保ち、種々の合併症を予防する必要があります。

糖尿病看護認定看護師の主な役割は、長い療養経過をたどる患者様が自らの力を発揮し、セルフケアを確立し、糖尿病とうまくつき合いながら、いきいきと充実した生活が送れるように支援することです。患者様個々に合った具体的な自己管理の方法や生活調整の方法を患者様とともに考え、実行できるようにサポートすることです。また、患者様ばかりではなく、多くの看護スタッフに糖尿病に関する専門的知識やケアの方法を伝え、広げていく役割があります。現在、当院には2名の糖尿病看護認定看護師がおります。特化した技術として、以下のものがあります。

- ①血糖パターンマネジメント(血糖コントロール管理)
- ②フットケア(合併症予防)
- ③ケアシステム立案(集団指導や地域ネットワークシステムにおけるチームアプローチの促進)

主な活動内容

外来では、平成20年にフットケア外来を開設し、予防的なフットケアを行っています。また、2週に1回の糖尿病教室でフットケアについての集団指導や、外来でのインスリン自己注射指導や血糖自己測定指導などを行っています。

病棟では、教育入院の患者様に対し、知識提供や退院後の生活管理について共に考え、継続できるよう支援しています。また、病棟での糖尿病看護の質が高まるよう、年間スケジュールを作成し、実施しています。



看護師勉強会



糖尿病教室



フットケア外来